

総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 1	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを充実する	
重点施策ID	重点施策名	
3 - 1 - 1 - 2	生活道路の整備	

2. 事業名等			
事業名	矢田ダム関連事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名		実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市		① ①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④その他 ()
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 23 年度	根拠法規	豊後大野市矢田ダム関連地域振興に関する条例
各種の計画への反映 (=根拠計画)		矢田ダム関連地域振興計画	事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 昭和44年に発表された矢田ダム建設計画は、平成12年11月に中止が決まった。32年間という長い年月の間、ダム関連地域は、陸の孤島として取り残されたため、地域の振興は遅れ、住民も生活への不安を抱えている。	補助事業	名称	
		補助率	国 1/ 県 1/ その他 1/
	起債の種類	① ② ③	

事業の目的及び対象		事業概要	
【目的】 矢田ダム建設計画の中止により、これまで遅れてきた当該地域の地域社会資本整備や広域社会資本整備、地域再生事業を行うことで、当該地域の住民が安心して暮らし、また活力に満ちた生活環境の整備を図る。	【対象】 市民	委員会の開催 ①県道整備負担金 ②市道牛首線改良工事 ③市道中原河屋線改良工事 ④中山間地域総合整備事業負担金 ⑤合併処理浄化槽設置補助金 ⑥広域農道朝地支線負担金 ⑦農免農道負担金 矢田ダム関連地域振興計画にかかる上記各事業に基金を充てて実施している。事業は各担当課において実施している。	前年度の評価 E 維持
		評価結果に基づき見直した内容	

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	230	212	212	212	474	474	474
	計	230	212	212	212	474	474	474
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	83	60	69	78			
	計	83	60	69	78			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 委員会の開催：1回 ① 市道牛首線改良工事 ② 市道中原河屋線改良工事等	【実績】 委員会の開催：1回 ① 市道牛首線改良工事 ② 市道中原河屋線改良工事	【実績】 委員会の開催：1回 ① 市道牛首線改良工事 ② 市道中原河屋線改良工事	国の補助事業は平成23年度以降も継続されるが、対策委員会の今後のあり方について検討する必要がある。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値												
活動指標	振興計画の計画的な実施											
効率指標	-											
成果指標	事業進捗率										単位 %	
年度	H 17		H 18		H 19		H 20		H 21		H 22	備考
種別	進捗率		進捗率		進捗率		進捗率		進捗率		進捗率	
目標値					75		82		90		100	
実績値	33		48		75		82					
達成率					100.0%		100.0%					
備考												

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	矢田ダム建設計画の中止により、これまで遅れてきた当該地域の地域社会資本整備や広域社会資本整備、地域再生事業を行うことで、当該地域の住民が安心して暮らし、また活力に満ちた生活環境の整備を図ることができるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	ダム建設計画の中止に当たっては、これまでの国をはじめとする行政側にも責任があることから、振興計画がスムーズに実施できるよう関与していく必要がある。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	当該地域の地域社会資本整備や広域社会資本整備、地域再生事業に関する計画策定に当たっては当該地域住民の意見を反映しているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	矢田ダム関連地域振興計画を実施することにより、これまで遅れてきた当該地域の地域社会資本整備や広域社会資本整備、地域再生事業が実施でき、当該地域の住民が安心して暮らし、また活力に満ちた生活環境の整備を図ることができたため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	本事業に計上した経費は、対策委員会に係る報酬であり、当面は現状の予算措置が必要であるため。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	矢田ダム関連地域振興計画の推進に係るもので、これまでと同様の取組みを行いたい。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	矢田ダム関連地域振興計画の推進・実施は、矢田ダム建設計画の中止により、これまで遅れてきた当該地域の地域社会資本整備や広域社会資本整備に必要なため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
県道・市道の事業完了予定が明確になれば、対策委員会終了の方向性を出す。					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	